

若者のコミュニケーション能力の低下について

【コミュニケーション能力の定義】

定義：「**他者と意思疎通を上手に図る能力**」

感情を互いに理解し合い、意味を互いに理解し合う能力。感情面に気を配って、意味を分かち合い、信頼関係を築いてゆく能力。

電子メールや手紙による、顔を合わせない意思疎通もコミュニケーションの一部である。

【コミュニケーションの種類】

・言語的コミュニケーション

→文字、手紙、電話、メール、チャット、対話

・非言語的コミュニケーション

→ジェスチャー、光、音、煙

【主なコミュニケーションに用いられるツール】

- ・ Line
- ・ Skype
- ・ Viber
- ・ kakaotalk
- ・ Messenger
- ・ sky phone
- ・ Discord
- ・ Zoom

【若者のコミュニケーション能力の現状】

結論から答えると若者のコミュニケーション能力は一概にも低下しているとは言えません。

JTB コミュニケーションズが 2017 年に行った「コミュニケーション総合調査」によれば、コミュニケーションを得意とする大学生が 46.2%で、苦手とする大学生が 53.8%という結果になりました。

また同調査で 1 年間楽しくコミュニケーションを取れた大学生が 66.2%いたことも分かっています。つまりコミュニケーションを苦手としながらも楽しんでいる大学生が一定数いるということです。

この結果から一概にも「若者のコミュニケーション能力が低い」というデータは確認されておらず、「若者のコミュニケーション能力が低い」は単なるイメージに過ぎないのかもしれない。

若者のコミュニケーション能力の低下について

【コミュニケーションを得意とする人と苦手とする人の特徴】

得意とする人

- ・物知りで会話のネタや話題をストックしている
- ・質問力が高く、相手の意見を引き出すのが上手い
- ・聞き上手で相手の話を最後まで聞ける
- ・自分の意見をはっきりと相手に伝えられる
- ・お互いの共通点を見つけることができる
- ・向上心、学ぶ姿勢がある
- ・相手に興味を持っている
- ・冗談が上手い
- ・愛嬌がある
- ・人懐っこい

苦手とする人

- ・自分で意見が合わない人を拒絶しやすい
- ・協調性が無く、人の立場に立って物事を考えることができない
- ・日頃から挨拶をしない
- ・人の話を聞かない
- ・自分の話ばかりする
- ・自分から話しかけるのが怖い
- ・空気を読めない
- ・自分の価値観を押し付ける
- ・引きこもりがち

【コミュニケーション能力が低下する原因】

- ・インターネットやスマートフォンの普及により人と話す機会が減ったこと
- ・SNS、コミュニケーションツールの発達
- ・コミュニケーションの重要性が分かっていない

【コミュニケーション能力を高めるには】

- ・日頃から挨拶をする
- ・話題を見つける（ニュースや時事ネタなど）
- ・人に関心を持つ
- ・表情を豊かにする
- ・スマートフォンの利用時間を制限する
- ・コミュニケーションの楽しさを知る

若者のコミュニケーション能力の低下について

- ・アウトドアになってみる

【これからの方針について】

若者のコミュニケーション能力は一概にも低いとは言えないことが分かりました。コミュニケーションを得意とする人と苦手とする人の両方の立場になって研究を進めていきたいです。

【参考文献】

- <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B3%E3%83%9F%E3%83%A5%E3%83%8B%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E8%83%BD%E5%8A%9B>
- <http://www.kms.ac.jp/~koueisei/content/files/26-32.pdf>
- https://woman.excite.co.jp/article/child/rid_KodomoManabiLabo_55524/
- <https://smartlog.jp/149510#S17633826>
- <https://re-sta.jp/improve-communication-skills-1209>